

令和 7 年 7 月 29 日作成

会議名 新館浴室の機械浴槽入替後第 1 回評価会議
開催日時 令和 7 年 7 月 28 日(月) 15 時 00 分～15 時 30 分
開催場所 本館 1 階地域交流スペース
参加職員 吉田課長 奈須ケアマイスター 西川課長代理 池田係長 永井介護職員
水嶋介護職員 辻井

1 特殊浴槽入替後、1 カ月経過した段階の評価

操作性・・・前回使用していた機器と基本的な操作は変わらないが、一部デジタル化されたことで浴槽内の温度調節が管理しやすくなった。

今まで入浴時間を職員が設置している時計を見て管理していたが、設置した機器は時間の経過を音声で知らせてくれるので、時間を気にしながら介助していたことを思うと負担は減った。

リクライニング式シャワーチェアのフットレスが一部調整でき利用者の安全性が向上した。

浴槽内が少しだけであるが、広くなったことで背の高い利用者でも前回の機器に比べゆったりと入浴できるようになった。

負担軽減・・・一部デジタル化されたこと音声で入浴時間を案内されることで気持ちに余裕をもって介助にあたることができる。

リクライニング式シャワーチェアで介助者の姿勢が中腰にならないようになっているのと、フットレスが稼働収納できることで介助側の負担軽減につながっている。長期使用することを想定すると介助者の腰痛予防につながる。

2 課題について

導入した機器については、前回使用していた機器の最新版になるので、基本的な操作については、違和感なく使用できている。1 カ月使用したが、特に課題はないかと思われる。ただ機能に頼りすぎず、介助にあたる職員は介護事故を発生させないように適切に機器の操作を行うことが必要であること確認する。